



【事業の分類】

関連するSDGsの目標

基本目標		重点課題プロジェクト		施策コード
6	快適で住みよいまちづくり			611
政策		その他の特色		コストの方向性
1	都市機能の充実	市長公約		コスト維持
施策		事業種	継・新	公共施設等総合管理計画
1	良好な住環境の創出と都市的土地利用の促進	ハード	継続	骨格・肉付け

【事業の内容】

事業名	新開桂木線ほか1路線整備事業				担当部課	建設都市部	都市施設課	
事業目的	1 学術研究都市としての基盤整備 2 移住・定住人口の受皿づくり 3 税収増加 4 九州大学、関係企業従事者等への魅力ある住宅地提供				事業主体	糸島市		
					実施方法	一部委託		
事業内容	組合施行の糸島市泊土地区画整理事業と一体的に、市が幹線道路を整備するもの ○事業の概要 ・公共施設管理者負担金（施行区域内の幹線道路にかかる用地、補償費） ・区画整理に併せて市が施工する道路事業L=1.04km、W=14.0m R5 公共施設管理者負担金、用地・物件補償、道路工事 R6 用地・物件補償、道路工事				進捗状況・現状	R3 公共施設管理者負担金、詳細設計 R4 公共施設管理者負担金、道路工事用地・物件補償 (参考) 糸島市泊土地区画整理事業の概要 事業予定期間：R3～R7 R3 組合設立認可		
事業期間	令和3年度～令和6年度				会計種類	一般会計		
総事業費	497,976	千円	(うち市予算化分) 497,976	千円	予算科目	款	項	目
前回の実施計画に計上した総事業費	508,723	千円	508,723	千円		8	2	3

【担当課による評価】

◆活動指標

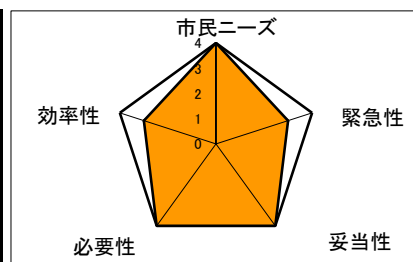
指標	現状値	当該年度目標値	最終目標値
道路整備延長	280m	698m	1037m

◆長期総合計画基本計画の施策に関する目標達成指標 ※本事業やその他関連事業の実施により達成される数値

指標	基準値 (R1)	当該年度目標値	目標値 (R7)
生活利便性や良好な住環境など生活環境が整備されていると思う市民の割合(市民満足度調査)	32.7%	37.5%	40.0%

◆事業の必要性など

事業の必要性	④非常に高い。必ず行うべきである。
行政関与の妥当性	④行政にしかできない事業である。
事業の効率性(費用対効果)	③費用はかかるが、それ以上の効果が期待できる。
緊急性	③今行わなければ、近い将来必ず市民生活に支障が出る。
市民ニーズ	④非常に高い



【事業費】

新開桂木線ほか1路線整備事業

※上段 ():市の予算を通らない事業費 【】:繰越費 斜体:ランニングコスト

(単位:千円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計	
財源内訳	国庫支出金	【55,688】 36,225	79,825		【55,688】 116,050	
	県支出金					
	地方債	【50,100】 32,600	71,800		【50,100】 104,400	
	その他	【5,588】 4,690			【5,588】 4,690	
	一般財源 (a)		11,206		11,206	
事業費 (A)		【111,376】 73,515	162,831		【111,376】 236,346	
主な事業費内訳		道路工事費 用地・物件補償	道路工事費 用地・物件補償			
従事職員数(人)		1.5	1.5		平均人件費	8,700
人件費 (B)		13,050	13,050		人件費割合 (%)	9.9
総コスト (A+B)		86,565	175,881		総コスト計	262,446
実質 地方 負担	交付税措置額	7,237	15,940			-
	一般財源充当額 (b)	25,363	55,860			81,223
	(a+b)	25,363	67,066			92,429
財源の 種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率等 (地方債は交付税措置率)	
国庫支出金	【社会資本整備総合交付金】 社会資本整備総合交付金	【社会資本整備総合交付金交付要綱】 社会資本整備総合交付金交付要綱			【50%】 50%	
県支出金						
地方債	【公共事業等債】 公共事業等債	【地方債同意等基準運用要綱】 地方債同意等基準運用要綱		(【充当率90%】) (充当率90%)	【22.2%】 22.2%	
その他	【ふるさと応援基金繰入金】 ふるさと応援基金繰入金	【糸島市ふるさと応援寄附条例】 糸島市ふるさと応援寄附条例				

年 度	積算基礎	合計
令和5年度	道路工事費(53,637千円) 用地・物件補償(19,813千円) 事務費(65千円)	73,515 千円
令和6年度	道路工事費(155,986千円) 用地・物件補償(6,765千円) 事務費(80千円)	162,831 千円
令和7年度		千円

担当部長による 総合評価	平成30年度に九州大学の移転が完了しており、大学隣接部における良好な居住環境・道路をはじめとする学研都市の基盤整備は急務である。その中で本事業は土地区画整理事業と一体で行うことで、良好な住環境の創出に寄与するものであり、大学門前町への移住・定住の促進につながるものと考えている。
-----------------	---

【事業の分類】

関連するSDGsの目標



基本目標		重点課題プロジェクト		施策コード
6	快適で住みよいまちづくり			612
政策		その他の特色		コストの方向性
1	都市機能の充実	市長公約		コスト削減
施策		事業種	継・新	公共施設等総合管理計画
2	快適な公園の整備	ハード	継続	○
				骨格・肉付け

【事業の内容】

事業名	運動公園整備事業			担当部課	建設都市部 地域振興部	都市施設課 生涯学習課						
事業目的	運動機能、交流機能、防災機能を備えた運動公園を整備し、都市機能の充実及び生涯学習機会の充実を図ることで、多くの市民の満足度を向上させる。また、防災拠点となる多目的体育館、広場、災害備蓄庫などの施設整備を行うことで、市民の生命、財産を守る体制を強化する。			事業主体	糸島市							
事業内容	≪導入機能・規模≫ ・場所:蔵持686番地11ほか(元雷山運動広場及びその周辺) ・面積:約58,000㎡ ・施設:多目的体育館(約7,900㎡)、憩いの広場、屋外運動施設等 ・機能:運動機能、交流機能、防災機能 ≪整備手法・事業者選定方式≫ ・整備手法:設計、施工、運営管理を一括発注する「DBO方式」 ・選定方式:総合評価一般競争入札(提案型)			実施方法	直営							
事業期間	平成30年度～令和5年度			進捗状況・現状	・H30年度:実施方針の決定、地質調査・測量、不動産鑑定 ・R1年度:用地取得、要求水準書の決定、入札・落札者の決定 ・R2年度:契約、設計業務(事前調査含む) ・R3年度:設計・建設・工事監理業務 ・R4年度:建設・工事監理業務 ・R5年度:建設・工事監理業務・開園準備業務 ※公共施設等総合管理計画上の総事業費:4,906,038千円							
総事業費	5,189,136	千円	(うち市予算化分) 5,189,136	千円	会計種類	一般会計						
前回の実施計画に計上した総事業費	5,189,136	千円	5,189,136	千円	予算科目	<table border="1"> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> </tr> <tr> <td>2</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> </table>	款	項	目	2	1	7
款	項	目										
2	1	7										

【担当課による評価】

◆活動指標

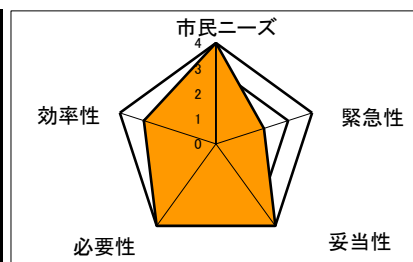
指標	現状値	当該年度目標値	最終目標値
運動公園整備事業の進捗率	94%	100%	100%

◆長期総合計画基本計画の施策に関する目標達成指標 ※本事業やその他関連事業の実施により達成される数値

指標	基準値 (R1)	当該年度目標値	目標値 (R7)
市民1人当たりの公園面積	5.19㎡	5.66㎡	5.80㎡
公園が快適で利用しやすく整備されていると思う市民の割合(市民満足度調査)	22.1%	26.0%	32.0%

◆事業の必要性など

事業の必要性	④非常に高い。必ず行うべきである。
行政関与の妥当性	④行政にしかできない事業である。
事業の効率性(費用対効果)	③費用はかかるが、それ以上の効果が期待できる。
緊急性	②数年のうちに行わなければ、問題が起こる可能性がある。
市民ニーズ	④非常に高い



【事業費】

運動公園整備事業

※上段 ():市の予算を通らない事業費 【】:繰越費 斜体:ランニングコスト

(単位:千円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計	
財源内訳	国庫支出金	【34,930】 13,924			【34,930】 13,924	
	県支出金					
	地方債	【34,900】 164,400			【34,900】 164,400	
	その他	【30】 152,606			【30】 152,606	
	一般財源 (a)					
事業費 (A)		【69,860】 330,930			【69,860】 330,930	
主な事業費内訳		工事監理業務費 建設工事費 開園準備業務費				
従事職員数(人)		3			平均人件費	8,700
人件費 (B)		26,100			人件費割合 (%)	7.3
総コスト (A+B)		357,030			総コスト計	357,030
実質地方負担	交付税措置額	82,200			-	
	一般財源充当額 (b)	82,200			82,200	
	(a+b)	82,200			82,200	
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率等 (地方債は交付税措置率)	
国庫支出金	【社会資本整備総合交付金】 社会資本整備総合交付金	【社会資本整備総合交付金交付要綱】 社会資本整備総合交付金交付要綱			【50%】 50%	
県支出金						
地方債	【公共事業等債(補正予算債)】 合併推進債	【地方債同意等基準運用要綱】 合併特例事業推進要綱			【50%】 50% (充当率100%) (充当率90%)	
その他	【公共施設等総合管理推進基金】 公共施設等総合管理推進基金	【糸島市公共施設等総合管理推進基金条例】 糸島市公共施設等総合管理推進基金条例				

年 度	積算基礎	合計
令和5年度	<p>■都市施設課予算:職員旅費(県協議等、1,160円*2人*10回≒24千円)、消耗品費(事務用品:ドッチファイル等、20千円)、印刷製本費(市民説明用資料、4.0円*5枚*50人*1.1≒2千円)、工事監理業務費(220千円)、建設工事費【備品設置含】(325,714千円) ■生涯学習課予算:開園準備業務費(4,950千円)</p> <p>【R4年度国の補正予算(第2号)による前倒し分】</p> <p>■都市施設課予算:建設工事費69,860千円(繰越明許費R4→R5)</p>	330,930 千円
令和6年度		千円
令和7年度		千円

担当部長による 総合評価	<p>本事業の実施により、スポーツを楽しむ人はもちろん、スポーツをしない人も、子ども、高齢者も、障がいがある人も、幅広く、より多くの市民に利用される施設を整備することで、多くの市民の願いをかなえることができる。</p> <p>また、本事業は本市で初めてのDBO方式(設計、施工、維持管理運営業務を一括発注する契約方式)による事業で、PFI法に基づくものであり、費用の縮減効果や、民間ノウハウの活用などが期待できる先進事業である。</p> <p>以上の理由から、多額の費用がかかるものの、それ以上の効果が期待できると考える。</p>
-----------------	---

【事業の分類】

関連するSDGsの目標



基本目標		重点課題プロジェクト			施策コード
6	快適で住みよいまちづくり				631
政策		その他の特色			コストの方向性
3	道路などの整備	市長公約			コスト増大
施策		事業種	継・新	公共施設等総合管理計画	骨格・肉付け
1	都市の骨格となる道路ネットワークの整備	ハード	継続		

【事業の内容】

事業名	岐志芥屋3号線整備事業				担当部課	建設都市部	建設課	
事業目的	観光客の増加と併せて大型バス通行に対応し、地域住民の安全確保と円滑な交通を実現するため、主要地方道福岡志摩前原線から港橋を結ぶバイパス道路を新設する。				事業主体	糸島市		
					実施方法	直営		
事業内容	道路新設事業 ・延長L=500m ・幅員W=10.0m ・用地買収面積A=3,000㎡ ・R2年度ルート選定、調整、R4年度測量設計、R5～6年度用地買収・物件移転補償、R6～R8年度工事				進捗状況・現状	現在の県道から漁港方面への進入道路は2箇所あるが、観光客を乗せた大型車両(バス)がスムーズに右左折できる状況ではなく、他の交通を阻害している状況である。令和4年度に測量及び道路詳細設計を完了させている。		
事業期間	令和3年度～令和8年度				会計種類	一般会計		
総事業費	303,558	千円	(うち市予算化分)	303,558	予算科目	款	項	目
						8	2	3
前回の実施計画に計上した総事業費	229,300	千円	229,300	千円				

【担当課による評価】

◆活動指標

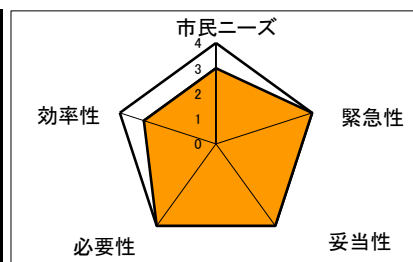
指標	現状値	当該年度目標値	最終目標値
道路拡幅及び歩道設置(m)	0m	0m	500m

◆長期総合計画基本計画の施策に関する目標達成指標 ※本事業やその他関連事業の実施により達成される数値

指標	基準値 (R1)	当該年度目標値	目標値 (R7)
都市計画道路整備率	71.3%	73.0%	73.0%
車で市内をスムーズに移動できると思う市民の割合(市民満足度調査)	32.2%	37.4%	40.0%

◆事業の必要性など

事業の必要性	④非常に高い。必ず行うべきである。
行政関与の妥当性	④行政にしかできない事業である。
事業の効率性(費用対効果)	③費用はかかるが、それ以上の効果が期待できる。
緊急性	④市民生活に支障が出ており、すぐに行うべき。
市民ニーズ	③やや高い



【事業費】

岐志芥屋3号線整備事業

※上段 ():市の予算を通らない事業費 【】:繰越費 斜体:ランニングコスト

(単位:千円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計	
財源内訳	国庫支出金	15,157	42,982	40,757	98,896	
	県支出金					
	地方債	13,600	38,600	36,600	88,800	
	その他					
	一般財源 (a)	1,957	5,582	5,258	12,797	
事業費 (A)		30,714	87,164	82,615	200,493	
主な事業費内訳		委託費、用地費、補償費	工事費	工事費		
従事職員数(人)		0.3	0.3	0.3	平均人件費	8,700
人件費 (B)		2,610	2,610	2,610	人件費割合 (%)	3.8
総コスト (A+B)		33,324	89,774	85,225	総コスト計	208,323
実質地方負担	交付税措置額	3,019	8,569	8,125	-	
	一般財源充当額 (b)	10,581	30,031	28,475	69,087	
	(a+b)	12,538	35,613	33,733	81,884	
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率等 (地方債は交付税措置率)	
国庫支出金	社会資本整備総合交付金	社会資本整備総合交付金交付要綱			50%	
県支出金						
地方債	公共事業等債	地方債同意等基準運用要綱 (充当率 90%)			22%	
その他						

年 度	積算基礎	合計
令和5年度	委託費3,345千円、用地費19,648千円、補償費7,621千円、事務費100千円	30,714 千円
令和6年度	工事費82,515千円、補償費4,549千円、事務費100千円	87,164 千円
令和7年度	工事費82,515千円、事務費100千円	82,615 千円

担当部長による 総合評価	令和5年度完成予定の主要地方道福岡志摩前原線の供用開始に伴い、更なる観光客の増加、大型車両の交通量の増加が見込まれることから、集落内を通さず、迂回路として整備することは、地域の安全確保を保つうえから重要な道路改良事業である。
-----------------	--

【事業の分類】

関連するSDGsの目標



— — — —

基本目標		重点課題プロジェクト			施策コード
6	快適で住みよいまちづくり				631
政策		その他の特色			コストの方向性
3	道路などの整備				コスト増大
施策		事業種	継・新	公共施設等総合管理計画	骨格・肉付け
1	都市の骨格となる道路ネットワークの整備	ハード	継続	○	

【事業の内容】

事業名	前原潤線整備事業				担当部課	建設都市部	建設課	
事業目的	当該道路は、クランク箇所がある狭小道路であるが、国道202号の迂回路線として交通量が多い路線となっている。通学路でもあるため、道路拡幅を行い歩行者の安全性及び車両の利便性の向上を図る。				事業主体	糸島市		
事業内容	道路改良工事 ・延長L240m ・幅員W=6.0m ・用地買収面積A=411㎡				実施方法	直営		
事業期間	令和元年度～令和6年度				進捗状況・現状	この路線の幅員はW=6.0mの箇所もあるが、本工事やクランク箇所があるため、車両や歩行者にとって通行上危険な道路である。		
事業費	145,612	千円	(うち市予算化分) 145,612	千円	会計種類	一般会計		
総事業費	145,612	千円	145,612	千円	予算科目	款	項	目
前回の実施計画に計上した総事業費	126,512	千円	126,512	千円		8	2	3

【担当課による評価】

◆活動指標

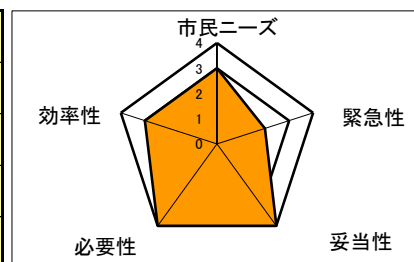
指標	現状値	当該年度目標値	最終目標値
道路拡幅及び路側帯の設置(m)	0m	100m	240m

◆長期総合計画基本計画の施策に関する目標達成指標 ※本事業やその他関連事業の実施により達成される数値

指標	基準値 (R1)	当該年度目標値	目標値 (R7)
車で市内をスムーズに移動できると思う市民の割合(市民満足度調査)	32.2%	37.4%	40.0%

◆事業の必要性など

事業の必要性	④非常に高い。必ず行うべきである。
行政関与の妥当性	④行政にしかできない事業である。
事業の効率性(費用対効果)	③費用はかかるが、それ以上の効果が期待できる。
緊急性	②数年のうちに行わなければ、問題が起こる可能性がある。
市民ニーズ	③やや高い



【事業費】

前原潤線整備事業

※上段 ():市の予算を通らない事業費 【】:繰越費 斜体:ランニングコスト

(単位:千円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計	
財源内訳	国庫支出金	【1,336】 9,000	12,000		【1,336】 21,000	
	県支出金					
	地方債	【1,200】 8,100	10,800		【1,200】 18,900	
	その他					
	一般財源 (a)	【136】 2,000	2,300		【136】 4,300	
事業費 (A)		【2,672】 19,100	25,100		【2,672】 44,200	
主な事業費内訳		工事費	工事費			
従事職員数(人)		0.3	0.3		平均人件費	8,700
人件費 (B)		2,610	2,610		人件費割合 (%)	10.6
総コスト (A+B)		21,710	27,710		総コスト計	49,420
実質 地方 負担	交付税措置額	1,798	2,397			-
	一般財源充当額 (b)	6,302	8,403			14,705
	(a+b)	8,302	10,703			19,005
財源の 種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率等 (地方債は交付税措置率)	
国庫支出金	社会資本整備総合交付金	社会資本整備総合交付金交付要綱			50%	
県支出金						
地方債	公共事業等債	地方債同意等基準運用要綱 (充当率 90%)			22%	
その他						

年 度	積算基礎	合計
令和5年度	工事費19,000千円 事務費100千円 (R4→R5繰越明許費 工事費 2,672千円)	19,100 千円
令和6年度	工事費25,000千円 事務費100千円	25,100 千円
令和7年度		千円

担当部長による 総合評価	糸島高校前駅の供用開始により、国道202号の迂回路として交通量の増加が見込まれることから、歩行者の安全性や利便性の良い道路として期待されている事業である。
-----------------	---

【事業の分類】

関連するSDGsの目標



— — — —

基本目標		重点課題プロジェクト			施策コード
6	快適で住みよいまちづくり				632
政策		その他の特色			コストの方向性
3	道路などの整備				コスト増大
施策		事業種	継・新	公共施設等総合管理計画	骨格・肉付け
2	道路などの安全対策とバリアフリー化	ハード	継続	○	

【事業の内容】

事業名	市単独道路整備事業（維持補修）				担当部課	建設都市部	建設課	
事業目的	市内各地区の生活道路で老朽化した舗装、道路側溝の維持補修を行い、道路の安全確保、事故防止のため整備を実施する。				事業主体	糸島市		
事業内容	舗装・道路側溝の補修工事				実施方法	直営		
	進捗状況・現状	各行政区からの要望が多いことから、緊急性、必要性を考慮し、年次計画的に実施している。						
事業期間	平成31年度～令和12年度				会計種類	一般会計		
総事業費	530,000	千円	(うち市予算化分) 530,000	千円	予算科目	款	項	目
前回の実施計画に計上した総事業費	520,000	千円	520,000	千円		8	2	2

【担当課による評価】

◆活動指標

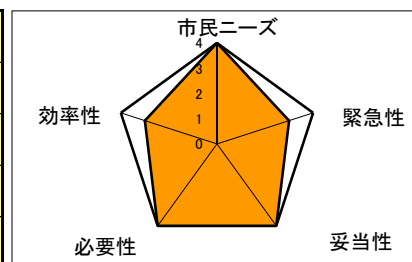
指標	現状値	当該年度目標値	最終目標値
生活道路の安全確保、事故防止(路線数)	0	14	42

◆長期総合計画基本計画の施策に関する目標達成指標 ※本事業やその他関連事業の実施により達成される数値

指標	基準値 (R1)	当該年度目標値	目標値 (R7)
交通安全施設がじゅうぶんに整備されていると思う市民の割合(市民満足度調査)	26.3%	33.0%	35.0%
自転車通行空間の整備	0km	39km	60km

◆事業の必要性など

事業の必要性	④非常に高い。必ず行うべきである。
行政関与の妥当性	④行政にしかできない事業である。
事業の効率性(費用対効果)	③費用はかかるが、それ以上の効果が期待できる。
緊急性	③今行わなければ、近い将来必ず市民生活に支障が出る。
市民ニーズ	④非常に高い



【事業費】

市単独道路整備事業(維持補修)

※上段 ():市の予算を通らない事業費 【】:繰越費 斜体:ランニングコスト

(単位:千円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	60,000			60,000	
	一般財源 (a)		50,000	50,000	100,000	
事業費 (A)		60,000	50,000	50,000	160,000	
主な事業費内訳		工事費	工事費	工事費		
従事職員数(人)		1	1	1	平均人件費	8,700
人件費 (B)		8,700	8,700	8,700	人件費割合 (%)	14.0
総コスト (A+B)		68,700	58,700	58,700	総コスト計	186,100
実質地方負担	交付税措置額				-	
	一般財源充当額 (b)					
	(a+b)					
財源の種類	特定財源の名称 (用途が定められた財源)	根拠法令等			補助率等 (地方債は交付税措置率)	
国庫支出金						
県支出金						
地方債		(充当率 %)				
その他	公共施設等総合管理推進基金	糸島市公共施設等総合管理推進基金条例				

年 度	積算基礎	合計
令和5年度	工事費	60,000 千円
令和6年度	工事費	50,000 千円
令和7年度	工事費	50,000 千円

担当部長による 総合評価	生活道路の老朽化した舗装や側溝などの補修は、道路の安全維持のため必要な事業である。また、行政区からの要望が多いことから、計画的に実施し、事故防止に努める必要がある。
-----------------	--